

【挨拶の力】

廊下を歩いていると、皆さんがとても気持ちのいい挨拶をしてくれます。挨拶がとても上手になったなと嬉しい気持ちになります。

そんな挨拶が上手な皆さんだから、こんなところも気を付けてほしいと思うことがあります。それは、学校の先生ではないけれど、皆さんの事を気にかけてくれている人への挨拶です。

それは、どんな人でしょうか？先ずは、黄色い旗をもって皆さんの行き帰りのお世話をしている交通誘導員の方です。また、学校の近所に住んでいて、ちょっと道に出て皆さんの様子を見守ってくれているお年寄りの方です。また、誰かはよく分からないけど、学校で見かけた誰かのお父さんやお母さんです。また、学校にきたお客さんです。

そういう方々も、はっきり言って、皆さんの事をよく知りません。だから、お互いによく知らない人どうしなのですね。でもね、だからこそ、子どもたちから「おはようございます」「こんにちは」と挨拶をされると、とってもとっても嬉しく感じるのです。挨拶がぽかぽか言葉になるのです。

よく知らない人に挨拶をするのは、ちょっと勇気がいるよね。でも、是非とも、皆さんの方から挨拶をしてあげてください。皆さんの挨拶一つで、その人には「この学校はいい学校だ。いい子どもたちだ」と思ってもらえるのです。

たまに、せっかく挨拶したのに、相手から挨拶が返ってこなくてがっかりする時もあるかもしれません。でも、いいのです。その人は、何か考え事をして気が付かなかったのかもしれませんが、また、恥ずかしがりの大人だったのかもしれませんが。

先生ではない大人にも進んで挨拶をするようにして下さいね。